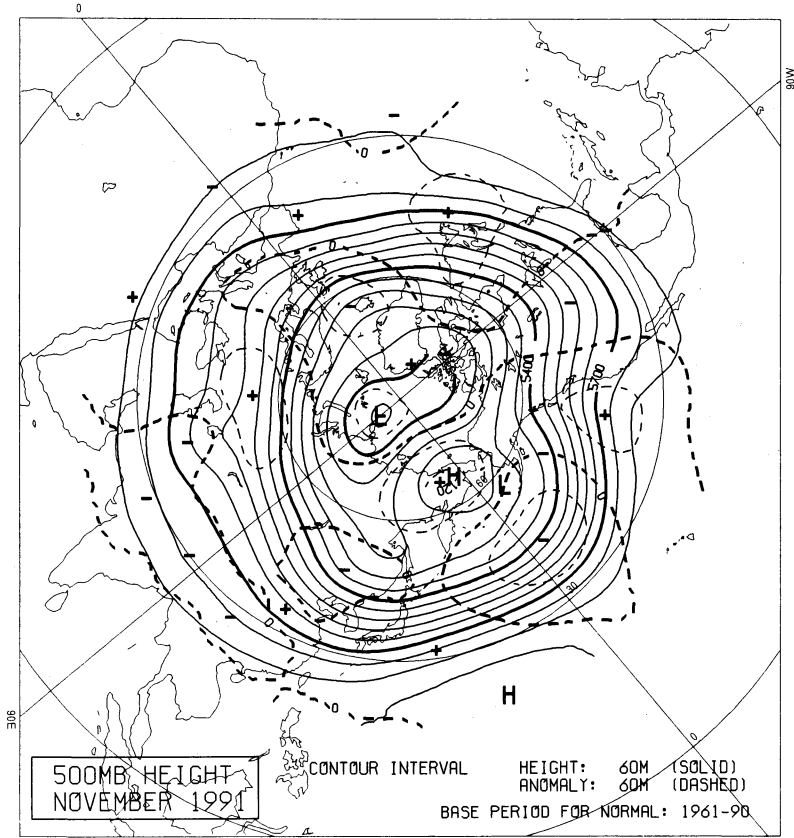


NEWS

1991年11月の大気大循環と世界の天候
月平均500mb天気図。



(破線は平年からの偏差。単位:m)

表1 1991年 11月の気候表

地点名	気温 ℃	偏差 ℃	DT/SD	降水量 mm	比率 %	降水 階級	地点名	気温 ℃	偏差 ℃	DT/SD	降水量 mm	比率 %	降水 階級
パリ	6.5	-0.2	-0.2	63	115	—	カサブランカ	—	—	—	—	—	—
ベルリン	4.8	0.0	0.0	52	110	4	ニオロドサヘル	—	—	—	—	—	—
ローマ	12.2	-0.1	-0.1	78	75	0	プレトリア	21.8	1.4	1.8	45	41	1
イスタンブール	—	—	—	—	—	—	バンクーバー	7.1	1.2	1.0	192	128	5
モスクワ	1.0	2.7	1.1	41	83	—	ニューオリンズ	13.3	-2.5	-1.5	56	53	2
オデッサ	5.9	0.0	0.0	2	4	1	セントルイス	5.8	-1.2	-0.8	83	129	4
ニューデリー	19.7	-0.8	-0.9	11	224	5	サンフランシスコ	14.2	1.7	2.1	6	9	1
カルカッタ	23.7	-0.7	-0.7	—	—	—	ニューヨーク	9.3	0.9	0.6	44	47	1
ボンベイ	28.3	0.3	0.4	1	10	3	マナウス	—	—	—	—	—	—
ホンコン	21.0	-0.3	-0.3	3	9	1	リオデジャネイロ	—	—	—	—	—	—
チャンチュン	-1.8	2.1	1.0	16	139	4	ロサリオ	—	—	—	—	—	—
ベキン	4.6	0.6	0.5	1	15	1	ホノルル	26.4	1.7	2.8	39	47	3
シャンハイ	12.9	—	—	23	—	1	タヒチ	26.9	0.8	1.6	29	20	1
バンコク	27.5	0.4	0.5	1	2	—	ダーウィン	28.9	-0.4	-1.0	177	130	4
マニラ	26.6	0.1	0.2	72	57	2	キャンベラ	15.5	0.3	0.2	21	38	1

世界の天候

11月の月平均 500mb 高度では大きい偏差はみられず穏やかな印象を受けるが、上旬と中・下旬とでは偏差パターンが異なり、旬ごとにみると偏差は大きかった。上旬にはアメリカ合衆国中部に寒気が落ち込み、記録的な寒波と大雪のニュースが伝えられた。月平均で+50m以上の正偏差がみられる地域では、地上でも気温は平年を大きく上回った。

① シベリア東部の高温

シベリアは全域で平年より気温が高く、特に東部は、500mb高度で月を通して正偏差におおわれ、地上の月平均気温は平年を5~7°C上回る顕著な高温となった。東アジアの他の地域はほぼ平年並の気温だった。

② ヨーロッパの多雨

気温はスカンジナビア半島からウラル北部にかけて平年よりかなり高かったが、中部から南部にかけてはほぼ平年並だった。降水量は北部・東部・ウラル北部を中心に多く、特にチェコスロバキアなどは平年の2倍程度だった。ブラハで月降水量47mm(平年の1.9倍)など。一方、ヨーロッパ南西部・南部地中海沿岸・黒海北方では少雨傾向であった。

③ アメリカ合衆国の多雨

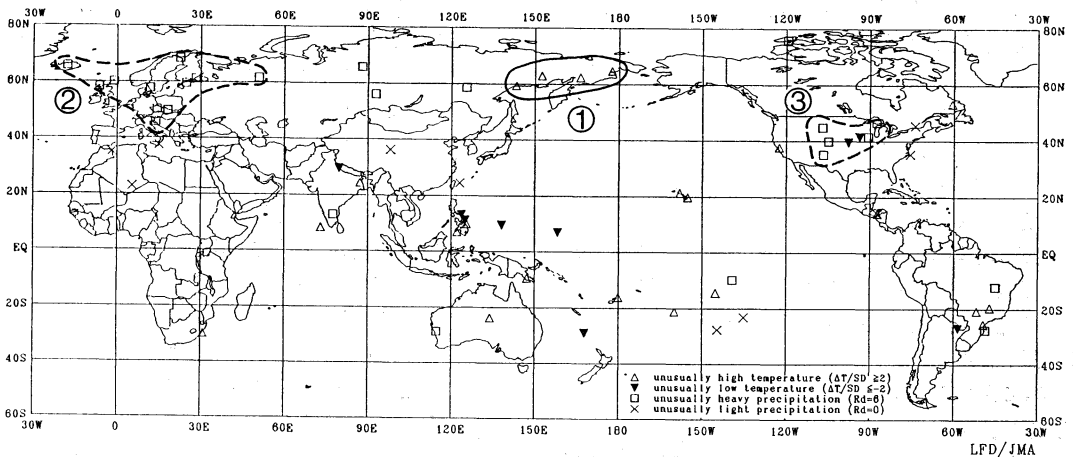
合衆国では上旬の寒波襲来によりミネソタ州など中西部で日最低気温が-20°C以下となる記録的な低温と大雪に見舞われ、月としても中西部を中心に低温多雨となった。ミネアポリスで月平均気温-4.2°C(平年差-4.5°C)、月降水量134mm(平年比4.4倍)など。合衆国西部沿岸は高温・少雨傾向、北東部も少雨のところが多かった。

④ その他

上旬にフィリピン中部のレイテ島を台風25号が襲い、死者・行方不明者あわせて6千人以上という15年ぶりの大きな被害がでた。

長期間の干ばつの続いているインドネシアでは、季節的に雨期にはいるジャワ島などでまとまった降水があった模様。

オーストラリアでは、中部の一部地域で平年よりかなり高いところがあったものの、全域でほぼ平年並の気温となった。降水量は、干ばつ被害の伝えられる東部沿岸地域や南東部で、依然平年より少ない状態が続いている。
(気象庁長期予報課 小島直美)



1991年11月の世界の異常天候分布図

△：高温 ▼：低温

図中の番号は、本文中の番号と対応している。

□：多雨 ×：少雨

1991年11月の気候表の説明。平均値は1951~1980年のデータに基づくもの。降水階級は五分位値で、0は最小値より小さい場合、6は最大値より大きい場合。500mb高度場の平均値は1961~1990年の30年平均値。